

今日のキーワード いよいよ開催！「リオ五輪」（ブラジル）

現地時間の今日8月5日から、いよいよリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピック（「リオ五輪」）が開催されます（パラリンピックは9月7日から）。開催国ブラジルでは、景気後退や物価高、汚職問題等多くの課題を抱えていますが、「リオ五輪」を機に経済が活性化されるか注目されます。

ポイント1 交通網が直前に完成するなど、ようやく開催にこぎつけた 治安の悪化が懸念され、警備は厳戒体制

- ブラジルでは「リオ五輪」開催に向けて、競技施設の建設や交通網の整備等を目玉として、多くの公共投資が行われました。競技が行われる地区を結ぶ地下鉄は財政難から工事が遅れ、先月末に開通するなど、全体としてようやく開催にこぎつけたという印象です。
- ほとんどの競技施設があるリオデジャネイロ市内では治安が過去最悪レベルにあると言われ、強盗等が多発しています。7月下旬には「リオ五輪」でのテロが計画されたとして逮捕者が出ています。出場を見合わせる選手も続出する中、テメル大統領代行は大会期間中の警備を一層強化する方針を発表しています。

ポイント2 ブラジル経済に回復の兆し 物価高、為替下落もピークアウトか

- 「リオ五輪」がなんとか開催にこぎつけたように、ブラジル経済にも回復の兆しが見えています。IMFによると、2017年には前年比+0.5%と2年連続のマイナス成長から脱することが見込まれています。消費者物価指数は今年1月の前年同月比+10.71%を直近のピークとし、6月には同+8.84%まで低下しており、市場予想では2017年末には同+5%程度まで低下する見通しです。
- また、原油を始めとする資源価格が上昇し、世界的に株価が回復していることによる投資家心理の改善等から、ブラジルレアルも過去数年の下落傾向に歯止めがかかりつつあります。



今後の展開 五輪投資の活用と、選手の活躍が作るポジティブなムードに期待

- 「リオ五輪」の経済効果を計る上で、公共投資が一般服したいま、開催中は治安悪化の中でどれだけ観光客による消費を伸ばせるのが注目です。また今後は、今回建設された五輪関連施設や交通網等が、再利用され、活用されていくことが期待されます。
- なお過去の五輪では、注目度の高い競技での日本人選手の活躍が、株式市場の参加者心理を好転させる動きが見られました。遠くブラジルの地から、選手たちのポジティブなムードが日本経済にも好影響を与えることが期待されます。

ここも チェック！

2016年7月21日 IMFの世界経済見通し（2016年7月）不透明感が残るものの、新興国が成長を支える
2016年7月21日 ブラジルの金融政策（2016年7月）政策金利据え置き：レアルは堅調な展開

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。